

NITTO INFORMATION

NITTO INFORMATION

VOL.32



ブラジル屋佐藤(資)港工場 (平成29年2月竣工)
名古屋市港区 S造/2階 延べ床面積/1394.69㎡

特集 中小企業経営強化税制がスタート!

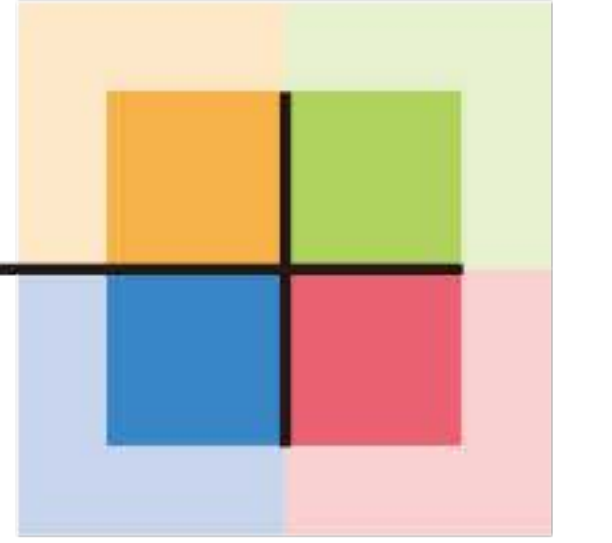
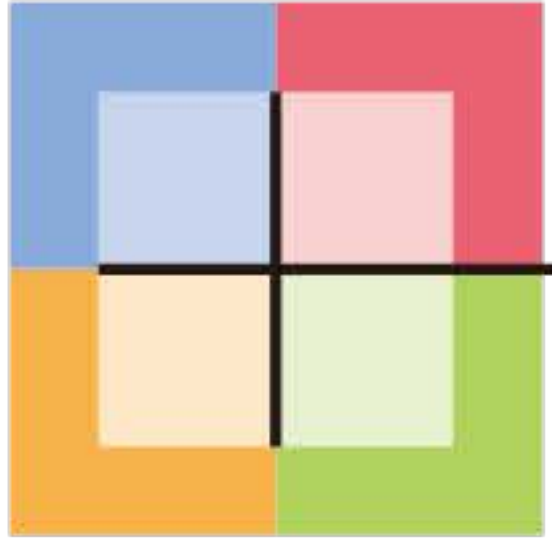
トピックス 金山再開発



NITTO

日東建設

URL <http://www.nitto-kensetsu.co.jp> ISO9001/14001認証取得

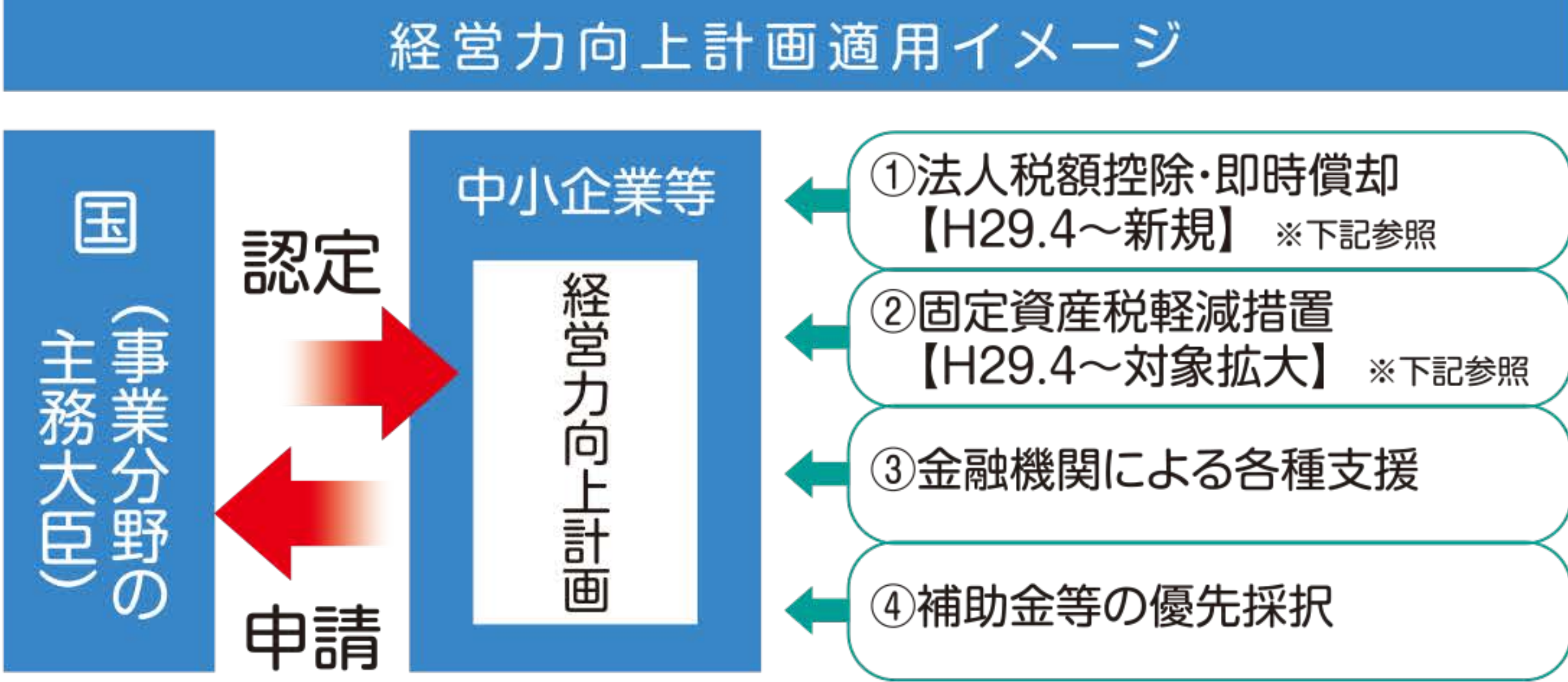


中小企業経営強化税制がスタート!

中小企業経営強化税制が、4月1日からスタートしました。資本金が1億円以下の法人にとって、平成29年度税制の目玉で、適用は平成29年4月1日から平成31年3月31日までの期間です。

これは、人材育成、コスト管理等のマネジメントの向上や設備投資による生産性向上など、自社の経営力を向上するため実施する計画を策定し、「経営力向上計画」として国に認定された事業所が、固定資産税の軽減措置や政府系金融機関による金融支援を受けることが可能となります。

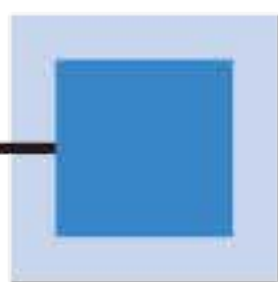
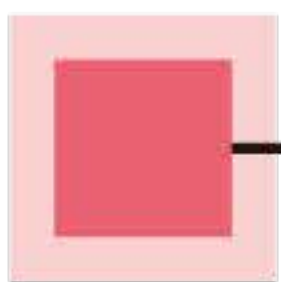
平成29年4月1日からは固定資産税の対象設備が拡大されるとともに、一定要件を満たす設備投資に対して法人税(所得税)の特例が適用可能になりました。

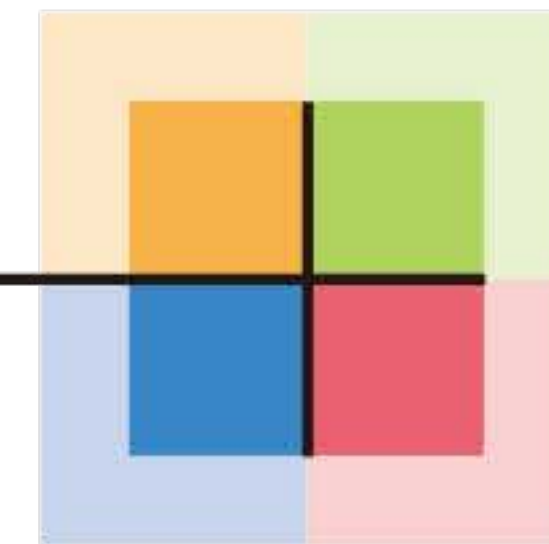
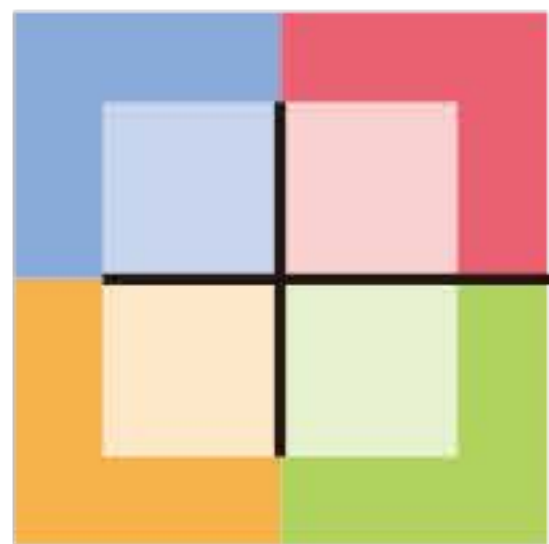


支援措置① 法人税・所得税の特例措置 (中小企業経営強化税制)

青色申告書を提出する中小企業者等が指定期間内に、中小企業等経営強化法の認定を受けた経営力向上計画に基づき一定の設備を新規取得等して指定事業の用に供した場合、即時償却又は取得価額の7%の税額控除を選択適用することができます。

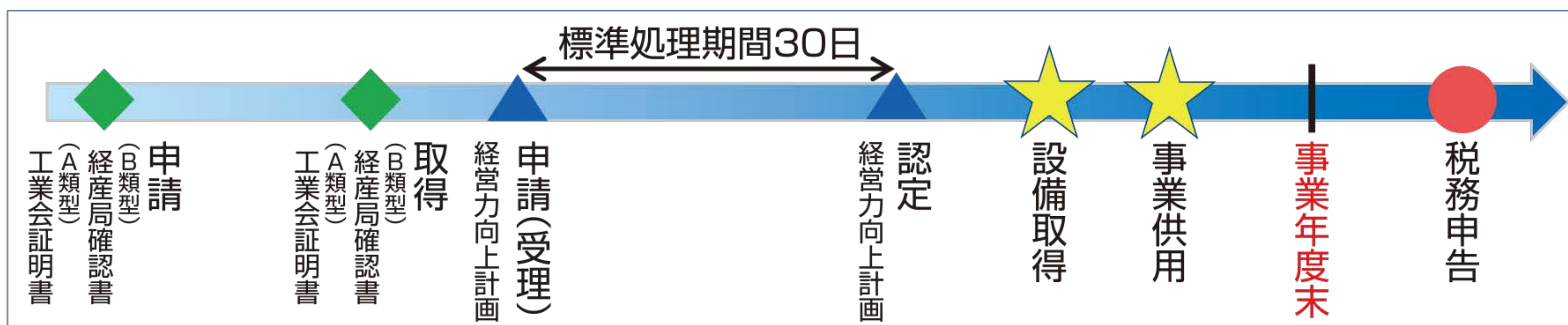
	生産性向上設備 (A類型)	収益力強化設備 (B類型)
対象設備	「機械装置」「測定工場及び検査工具」「器具備品」「建物附属設備」「ソフトウェア」	「機械装置」「工具」「器具備品」「建物附属設備」「ソフトウェア」
要件	①認定経営力向上計画に基づく取得 ②旧モデル比生産性向上 (年平均1%以上) ③資産種類に応じて販売開始時期要件あり	①認定経営力向上計画に基づく取得 ②当該投資計画の投資利益率が年平均5%以上であること (要 経産大臣確認)
確認者	工業会等	経済産業局
その他要件	生産等設備を構成するものであること / 最低取得価額 / 国内への投資であること / 中古資産・貸付資産でないこと / 指定事業の用に供すること 等	
対象者	青色申告をする中小企業者 (資本の額が1億円以下の法人または従業員1000人以下の個人)	
税制措置	○法人税・所得税 即時償却 または 税額控除7% (資本金3千万円以下の事業者は10%) の選択適用	





●設備の取得時期について(中小企業経営強化税制A・B共通)

経営力向上設備等については、以下のとおり、経営力向上計画の認定後に取得することが【原則】です。原則に従うことができない場合には、設備取得日から一定期間内に経営力向上計画が受理される必要があります。



支援措置② 固定資産税の特例措置

中小事業者等が、適用期間に、中小企業等経営強化法の認定を受けた経営力向上計画に基づき一定の設備を新規取得した場合、固定資産税が3年間にわたって2分の1に軽減されます。



②固定資産税の課税標準の特例措置

対象設備	・「機械装置」 ・「測定工場及び検査工具」「器具備品」 「建物附属設備」(地域・業種を限定)
要件	①認定経営力向上計画に基づく取得 ②旧モデル比生産性向上(年平均1%以上) ③資産種類に応じて販売開始時期要件あり
確認者	工業会等
その他要件	生産等設備を構成するものであること/ 最低取得価額/中古不可
対象者	中小企業者(資本の額が1億円以下の法人 または従業員1000人以下の個人)
税制措置	○固定資産税 対象資産取得翌年度から3年度分の固定資産 税の課税標準を1/2に軽減

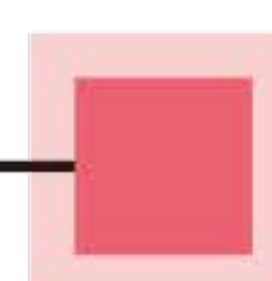
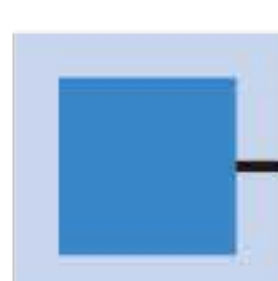
支援措置その他

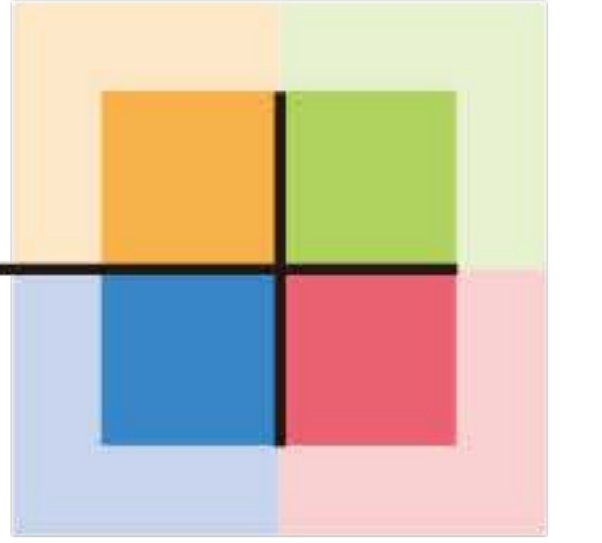
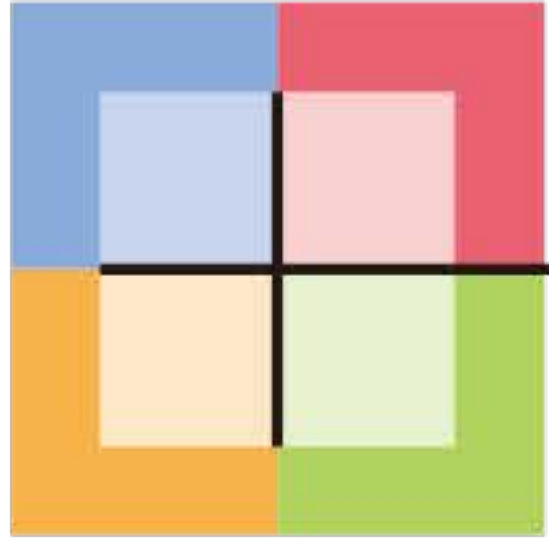
●金融支援措置

日本政策金融公庫(新事業活動促進資金・スタンドバイクレジット)、中小企業投資育成株式会社法の特例、信用保険法特例(信用保証協会)、中小機構基盤整備機構による債務保証、商工中金による低利融資があります。

●補助金での優先採択等

「革新的ものづくり・商業・サービス開発支援補助金」、「サービス等生産性向上IT導入支援事業補助金」が実績としてあります。



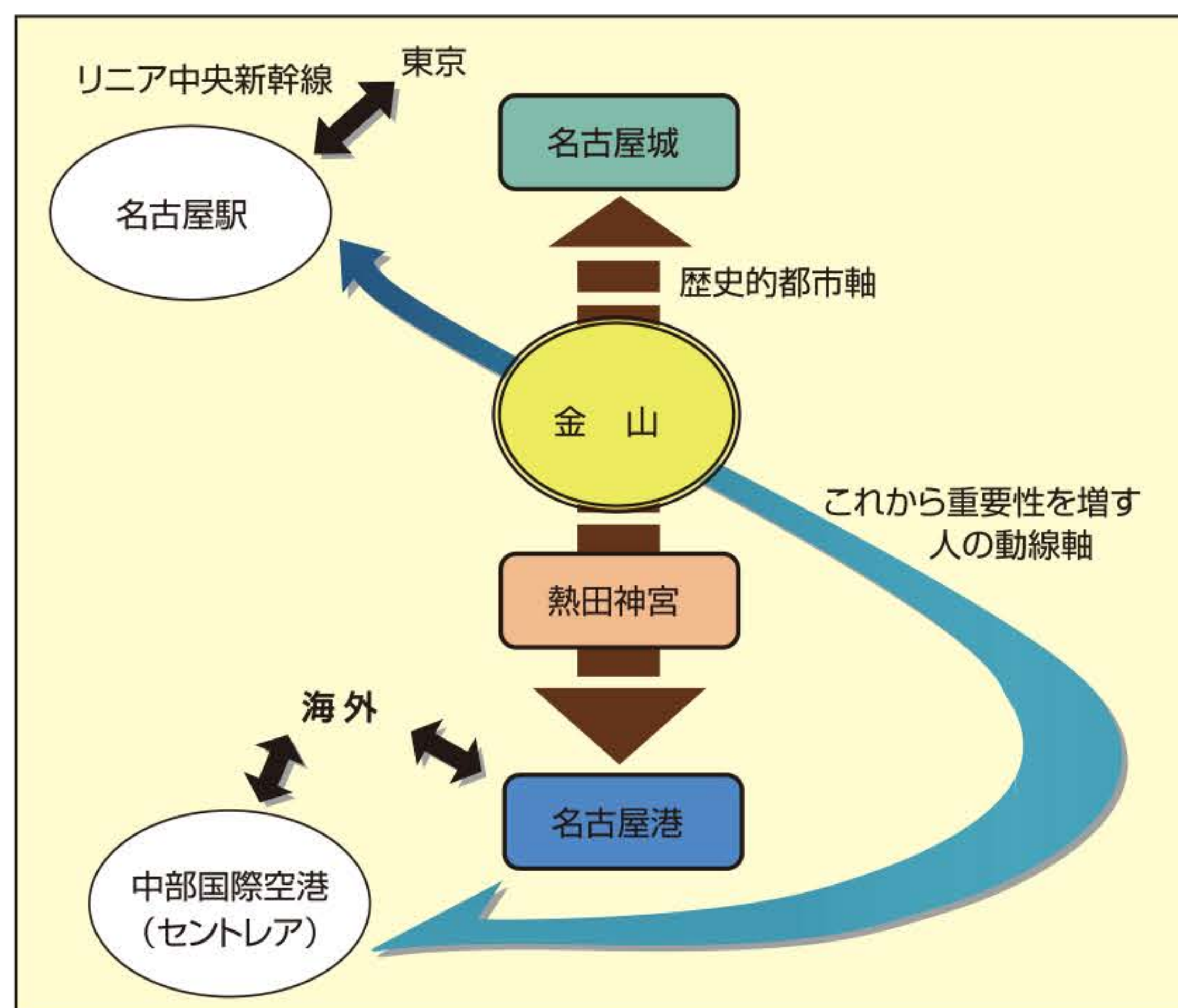


トピックス

金山再開発

交通拠点から交流拠点へ ～にぎわい・文化・芸術の継承と新たな役割を求めて～

金山総合駅は、名古屋市内だけでなく、多方面からの来街者が訪れる交通結節点となっています。また、名古屋駅、中部国際空港、名古屋港とも結ばれており、より広域な国内外からの来街者も想定されます。一方で、駅周辺には住居が近接しており、多くの住民の方が存在するといった特徴も有しています。このように多様な来街者が想定される金山駅周辺では単なる交通拠点としてではなく、便利で国際的な交流拠点としての役割が期待されています。今後は、防災機能やこれまで長い歴史の中で培われた文化芸術の機能を兼ね備え、土地の有効活用により、商業、オフィス、宿泊などの都市機能の充実をはかっていくことで、人々の創造性が育まれ、老若男女誰もが集い・楽しむことができ、多種多様な交流によるにぎわいあふれるまちを形成します。



(1) にぎわいとるおいの継承・発展

- ① 都市機能の集積
- ② 商業機能等の再編
- ③ 金山地域内外の回遊性の向上

(2) 文化芸術や創造等拠点の集客性向上

- ① 市民会館の機能更新
- ② まちかどからの文化・芸術の発信
- ③ 金山南ビルの活用

(3) 地域防災力の強化

- ① 安全確保施設の充実
- ② 防災意識の向上
- ③ 広域避難場所の活用

(4) 交通結節点の機能強化

- ① 乗り継ぎ利便性の確保
- ② 情報発信機能の充実
- ③ 来街者向けサービスの提供



駅北側には緑豊かな広いオープンスペースが設けられ交流拠点の中心として機能しています。また、オープンカフェなど、家族連れや子ども達が楽しめる仕掛けの展開が想定されます。

「外断熱」に関する情報は、日東建設のホームページでご覧いただけます。
 (URL <http://www.nitto-kensetsu.co.jp>)
 またパンフレット及びビデオも用意しておりますので、気軽に企画開発担当者まで申し付け下さい。



伝統を軸に未来へ
株式会社 日東建設
 TEL(052)321-5501(代表)

